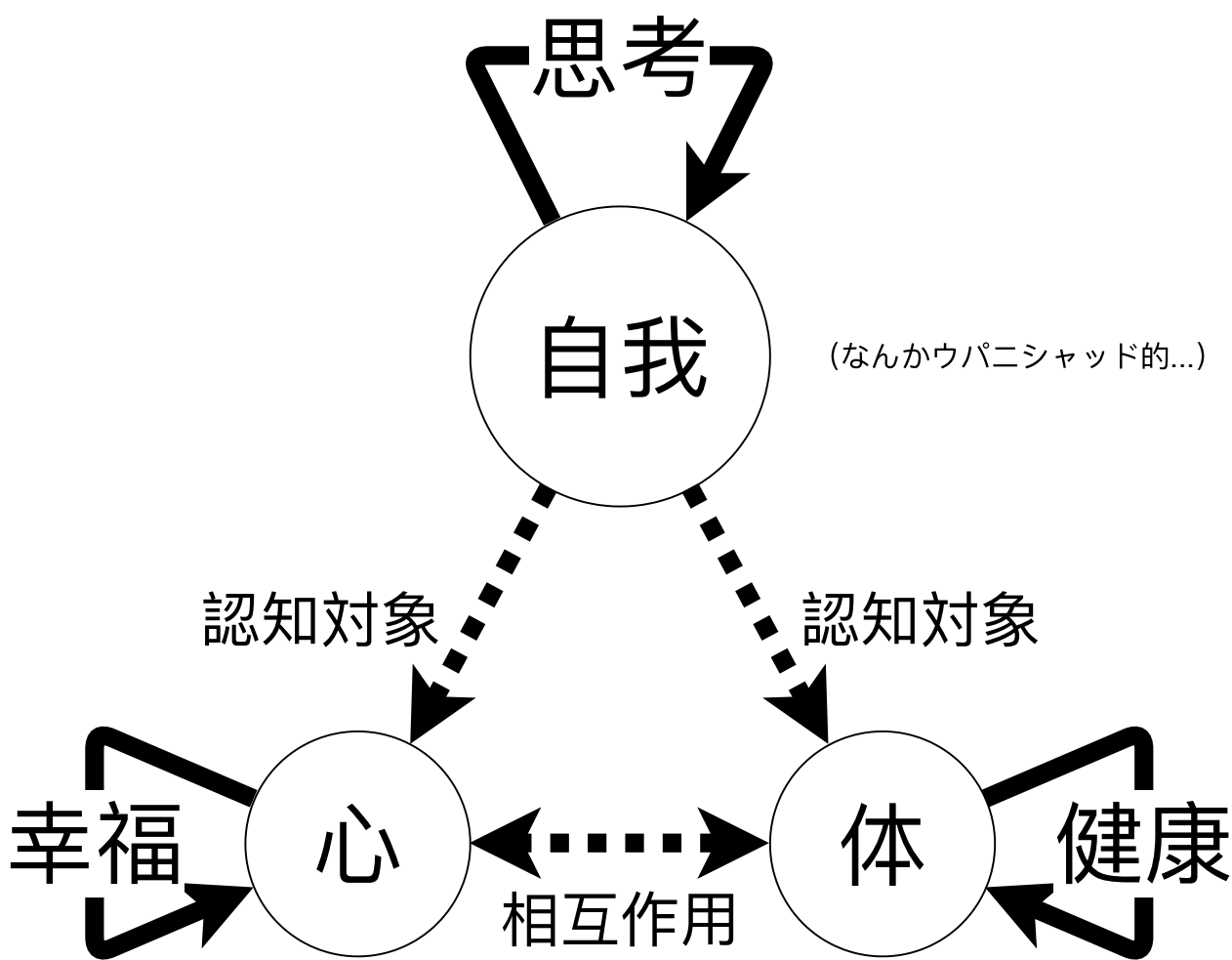


世界は「存在」と「関係」で説明できる
現実的存在（実存）も本質的存在（概念）も、どちらも存在だからである

第一に、それぞれの存在は、
「自身が存在している状態」を維持するよう振る舞う

第二に、それぞれの存在は第一の原理の達成を目的とし、
他の存在との関係を創生・維持・破壊する



「個人」という概念は、
左図にある3つの概念に
より構成される

われわれ実存的個人と概念
としての個人の間に
は、「実存とは概念の現
実世界に対する写像」と
いう関係性がある

つまり個人は「思考し、
健康であり、幸福であ
る」ことで、はじめてそ
の存在を維持できる

個人は個人といういつ存
在として、他の存在と関
係を持つ